

登録コード	L2241300	開講年度	2026				
担当教員	磯部 美穂			副担当			
授業科目	ドイツ言語文化発展演習						
英文授業名	German Language Culture: Advanced Seminar						
授業タイトル	中高ドイツ語文法						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限
講義室	人文501演習室	遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加わらぬ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			古いドイツ語で書かれたテキストを読み、現代のドイツ語の仕組みについて理解を深め、自ら解説することができるようになる。			
	【2023年度以降加わらぬ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			古いドイツ語で書かれたテキストを読み、現代のドイツ語の仕組みについて理解を深め、自ら解説することができるようになる。			
	【2023年度以降加わらぬ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			古いドイツ語で書かれたテキストを読み、現代のドイツ語のしくみについて理解を深め、自ら解説することができるようになる。			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業は、中高ドイツ語文法の基礎を理解し、ドイツ語の発展過程について知見を深めることを目的としている。中高ドイツ語の時代背景・文化慣習を理解しながら、中高ドイツ語の短いテキストを読解していく。						
授業計画	授業は発表形式で進めていく。発表では、担当する項目について、文献調査をおこない、報告をおこなってもらう。 第1回 導入 中高ドイツ語について 第2回 中世の社会と人 第3回 森と自然 第4回 物語の舞台としての森 第5回 中世の宮廷 第6回 宮廷の娯楽 第7回 中世の法と秩序 第8回 中世の権力者 第9回 信仰 - 慈悲 第10回 信仰 - 聖母マリア 第11回 病気と治癒 第12回 健康と養生 第13回 結婚とミンネ 第14回 知識と学問 第15回 まとめ、授業アンケート						
成績評価の方法	授業内での発表4割、2回の授業記録6割の比率で総合的に評価する。						
成績評価の基準	担当箇所について正確に理解し、わかりやすく報告ができれば水準にある。 中世ドイツ語の文を文法的に正しく理解し、日本語に訳すことができればかなり上にある。 中世ドイツ語のテキストを正確に訳すことができれば卓越している。						
事前事後学習の内容	担当以外の箇所もすべて予め日本語に訳しておくこと。 授業時間外に、予習および事後学習のための時間を十分に確保すること。 文法的に理解できなかったことを質問できるように準備しておくこと。 授業で理解できなかった項目は復習した上で「わからないポイント」を明確にし、次回授業に臨むこと。						
履修上の注意	授業には目的を明確にし、積極的に参加すること。 ドイツ語学研究に関心を持ち、高いドイツ語運用能力を備える、または、それを目指す者を対象とする。 予習や課題作成の過程における不正や他の受講生の学習を妨げる行為を行う者には、出席の停止を求めることがある。						
質問、相談への対応	メールにて対応する。メールアドレス: isobe@shinshu-u.ac.jp						
教科書	教場にて配布する。						
参考書	『中高ドイツ語』古賀ヨシ洋, 大学書林 『新訂・中高ドイツ語小辞典』伊東ほか, 同学社						